令和２年度　指定管理者モニタリング評価シート

施設名称	松原市民松原図書館
所在地	松原市田井城３丁目１番４６号
事業内容 （設置目的）	図書館法に基づく図書館
所管部課	市民協働部　いきがい学習課
指定管理期間	令和元年７月１日から令和７年３月３１日まで
指定管理者	ＴＲＣ松原グループ　代表企業　株式会社図書館流通センター
指定管理料	２２０，２５２，５５２円

評価項目	評価の基準	評価	
		指定管理者	担当課
市民の利便性向上について	市民へ平等利用の確保が行われたか。	A	B
	個人情報保護のための措置は適切に行われたか。	A	A
	苦情への対応及び防止策は適切に行われたか。	B	B
	利用者ニーズの把握に努め、サービス向上の取組が行われたか。	A	B
	施設の利用率（利用者数・稼働率）は昨年度と比べ上昇したか。	B	B
適正な施設管理運営について	施設、設備の保守・点検は適切に行われたか。	A	B
	備品の管理は適切に行われたか。	B	B
	職員の人員配置は適切に行われたか。	B	B
	職員の指導育成、研修体制は十分にされたか。	B	B
	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制が十分であったか。	A	A
	管理運営経費縮減への取組の方策は適切に行われたか。	B	B
	自主事業について創意工夫がなされているか。	B	B
指定管理者の経理について	収支計画と収支実績に乖離はなかったか。	B	B
	経営状況は良好であるか。（貸借対照表等による）	A	B

〈評価〉　A：優れている　　B：問題ない　　C:改善を要する又は改善を指示

評価コメント

【市民の利便性向上について】
・オープン開始間もなくから新型コロナウイルス感染症拡大防止に振り回される一年となった。予定していた周年行事も開催できない、時短開館や臨時休館を行わざるをえないなど、通常運営ができない一年ではあったが、図書館休館中の図書資料の宅配サービスをおこなうなどのサービスを試みることができ、市民にも好評であった。
・開館しても、新型コロナウイルス感染症対策に追われる状況で、思うように事業が展開できず、図書館運営が予定通り進められなかったことは致し方ないが、市側からの提案を受けて行うことが多く、事業報告や企画計画・運営など市に対する報告が遅れがちであった。
・資料購入についても、市民ニーズに合った資料選定ができているのか遅れぎみであった。読書への意欲は、利用者にいかに速やかに読みたいと思う本を提供できることが大切な市民サービス・市民対応と考える。今後、複本の在り方など改善策を検討していきたい。
・但し、新型コロナウイルスの影響下で、オンラインを利用したイベントや、小学校と連携して、オンライン授業で図書館の紹介や絵本の紹介を行うなど積極的な企画を展開し、小学校にも好評で、令和３年度も期待できる内容であった。
・令和３年度は、新型コロナウイルス感染症と共存しながら、新たな事業展開を指定管理者に求める。

【適正な施設管理運営について】
・施設自体が、新設の建物であり維持については、問題無かった。また、運営面についても、新型コロナ対策として、サーモグラフィカメラの設置や入館時の確認など実施し、安全対策を講じる運営ができた。

【指定管理者の経理について】
・収支の収入面については、殆ど指定管理料で賄うこととなっており、最終的に新型コロナウイルスの感染拡大の予防の為、事業実施のできなかった事業経費があった。また、新型コロナウイルスの感染拡大の予防の対策経費の計上もあり、総合的に適正な運営経費の執行であった。